

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

平成30年度 事業報告

少子高齢化や都市化に伴う単身世帯の増加、認知症高齢者の増加、住民同士のつながりの希薄化が進行し、経済的困窮などを背景とした社会的孤立の問題なども顕在化している中、福祉課題は複雑多様化し、既存のサービスだけでなく、「制度の狭間」で支援を必要としている人たちを支える地域づくりの必要性が高まっている。

本会では、第5期地域福祉活動計画の基本理念である「住民参加と自治を基盤とした地域福祉の推進」の実現に向けて、地域住民やボランティア、他の社会福祉法人や施設、関係機関団体等と連携してその推進に努めた。

平成30年度は、第5期地域福祉活動計画の中間見直しを行い、「地域共生社会の実現」に向けた取組みの重要性を再確認した。また、生活支援コーディネーターを4区に配置し、地縁組織や他団体と連携して、地域課題の把握や社会資源の創出、ネットワークづくりに努め、その実績により令和元年度からの全区配置につながった。さらに、近年、社会の関心が急速に高まっている「終活」に関する相談に応じるとともに、市民向けセミナーや出前講座を実施し、啓発を行った。そのほか、地域福祉活動の推進に一層注力できる環境の整備をすべく、令和2年度に各区社協の法人組織を市社協に統合するための準備を進めた。

30年度の主な実施事業は、以下のとおりである。

【重点項目】

1 小地域福祉活動の推進

校区社会福祉協議会強化への支援

2 ボランティアによる社会参加の拡大

- (1) 社協ボランティアセンターの取組みの推進
- (2) シニアボランティアに関する取組みの推進
- (3) 災害ボランティア活動の推進

3 生活課題解決モデルの開発

- (1) 移動支援・買い物困難者支援の仕組みづくり（一部福岡市委託事業）
- (2) 住まいサポートふくおか（福岡市居住支援協議会事業）
- (3) 終活に関する事業
- (4) 「地域の子ども」プロジェクト（一部福岡市委託事業）

4 拠点型地域福祉の推進

- (1) 社会福祉法人（施設や事業所を運営する）による地域における公益的な取組みに向けての協働
- (2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり

5 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 生活支援コーディネーター業務（福岡市委託事業）の実施によるCSWの機能強化
- (2) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

6 権利擁護事業の拡充

- (1) 判断能力が不十分な人の自立に向けた支援の強化～日常生活自立支援事業
- (2) 法人後見事業の強化
- (3) 市民後見人養成事業の推進（福岡市委託事業）

7 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育関連事業の見直し構想の実践
- (2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進

8 生活困窮者への支援の推進

生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携

重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は平成31年3月31日現在のもの。

1 小地域福祉活動の推進

(106, 412千円)

校区社会福祉協議会強化への支援

住み慣れた地域で、誰もが自分らしく安心して暮らせる「ともに支えあう福祉のまち」をめざし、校区社協を中心とした地域福祉活動を推進した。

① 地域特性に応じた福祉活動の展開

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催するとともに、その内容をより多くの住民で共有するため、12校区で「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援した。

これまでに市内46校区のプラン策定を支援している。

〔平成30年度新規策定校区〕

区	校区	プラン名
東	舞松原	舞♥myみまもるったいプラン
	和白	和白校区いきいきプラン
博多	弥生	心つながるプラン
	美野島	ぬくもりのまち 美野島プラン
	東住吉	生き生き暮らすまち東住吉プラン
	東光	安全・安心のまち・笑顔のあるまち東光
中央	笹丘	福祉のまちづくりプラン
	高宮	福祉のまちづくりプラン
南	東若久	住みよいまち東若久地域包括ケア推進プラン
	花畑	福祉のまちづくりプラン
城南	堤	福祉のまちづくりプラン
早良	田隈	福祉のまちづくりプラン



② 校区社協の基盤をなす活動の拡充

ア ふれあいネットワーク活動の拡充

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取り組みを、区社協とともに支援した。また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成した。

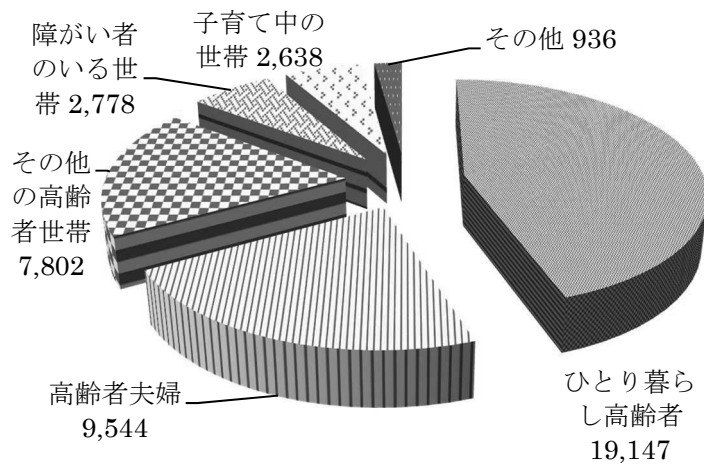
〔実施自治会(町内会)率〕84.4%

〔助成額〕18,375,405円

〔活動状況〕 ※（ ）は前年比の数字

区	校区数	実施 校区数	助成 校区数	実施 自治会数	助成 自治会数	対象世帯数	ボランティア 数(人)
東	28	27	27	372 (△4)	371 (△5)	9,136 (991)	2,940 (54)
博多	22	21	20	309 (1)	294 (1)	5,573 (682)	1,679 (82)
中央	14	13	11 (1)	309 (25)	262 (25)	4,588 (△162)	926 (△6)
南	25	25	25	301 (1)	301 (1)	7,372 (1,255)	2,603 (410)
城南	11	11	11	146 (△6)	146	4,141 (176)	1,506 (△22)
早良	24	23	21	236 (△21)	217 (△18)	6,165 (569)	2,042 (55)
西	24	22	22	161 (2)	161 (3)	5,870 (△113)	1,735 (△67)
合計	148	142	137 (1)	1,834 (△2)	1,752 (7)	42,845 (3,398)	13,431 (506)

〔ふれあいネットワーク活動対象世帯内訳〕



〔活動内容内訳〕 ※重複あり

活動内容		世帯数
安否確認・声かけ・話し相手		42,845
保健福祉サービスの紹介		3,019
生活の支援	ゴミ出し	585
	電球の取り替え	209
	買物代行・薬取り	205
	家事援助(掃除・洗濯・炊事など)	151
	外出援助(通院・買物付添など)	232
	急用時の子どもの送り迎え・預かりなど	26

イ ふれあいサロン活動の拡充

i) ふれあいサロン活動の支援

一人暮らしや身体機能の低下等により家に閉じこもりがちな高齢者等の引きこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操等の活動を取り入れ、交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援した。特に、地域の実情に応じて、ふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行った。また、福岡市地域保健福祉振興基金を財源として、活動費を助成した。

〔助成額〕21, 578, 733円

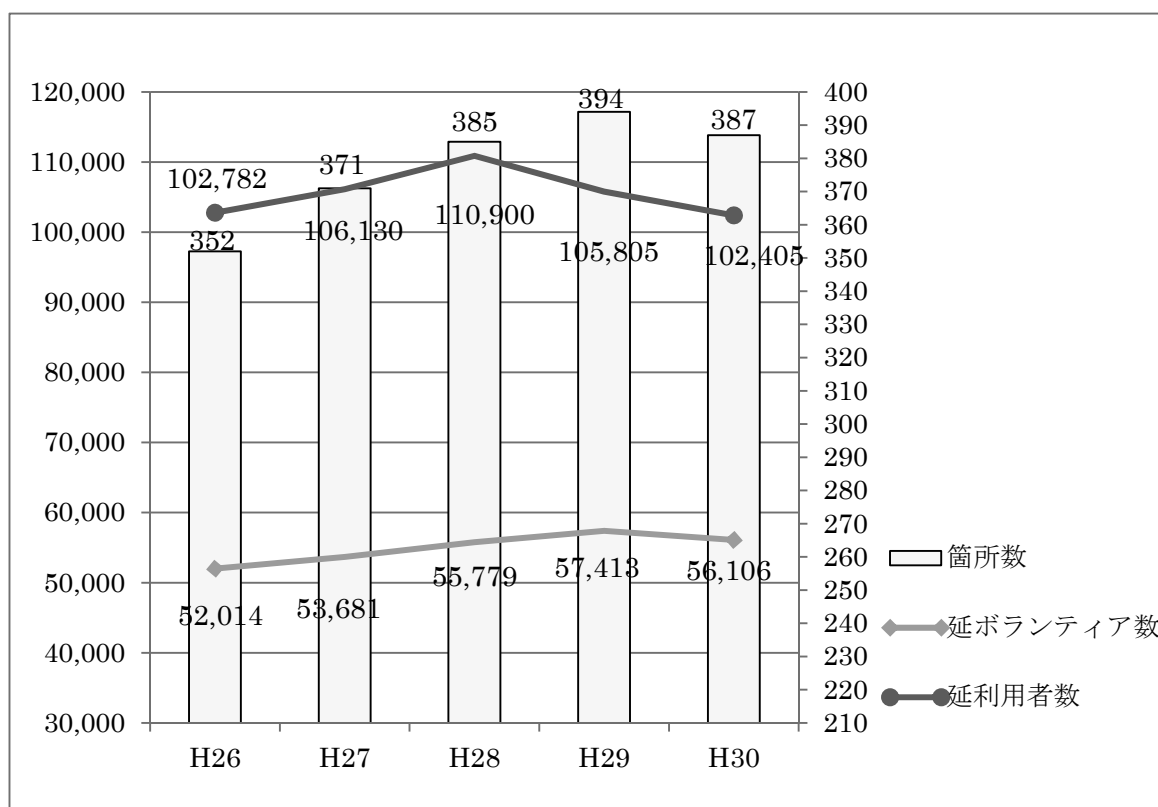
〔活動状況〕 ※()は前年比の数字

区	校区数	助成校区数	助成箇所数	延実施回数	延利用者数(人)	延ボランティア数(人)
東	28	27	79 (△3)	1,368 (△120)	21,041 (△2,674)	11,958 (△503)
博多	22	19	47 (△2)	991 (△1)	14,165 (△15)	5,742 (△298)
中央	14	13	30 (3)	429 (34)	5,569 (678)	3,411 (134)
南	25	24	44 (△1)	826 (△28)	11,738 (△174)	6,287 (△277)
城南	11	11	44 (△1)	733 (33)	10,013 (272)	5,449 (△17)
早良	24	23	60 (△1)	1,406 (△42)	18,608 (△379)	12,052 (41)
西	24	22 (△2)	83 (△2)	1,574 (△12)	21,271 (△1,108)	11,207 (△387)
合計	148	139 (△2)	387 (△7)	7,327 (△136)	102,405 (△3,400)	56,106 (△1,307)

(参考)1回あたりの平均利用者数:14.0人(△0.2人)

1回あたりの平均ボランティア数:7.7人(前年度同)

〔ふれあいサロン事業助成箇所数、延ボランティア数、延利用者数の推移〕



ii) 「地域福祉でフレイル予防サロン体操」リーフレット作成

平成29年度、福岡大学の協力を得て作成した「地域福祉でフレイル予防サロン体操」リーフレット(サロンでボランティアが活用できる体操を掲載)を4,000部増刷した。区社協を通してふれあいサロンに配布し、ふれあいサロンの介護予防機能強化を図った。

③ 超高齢社会・大介護時代の到来に備える活動の拡充

ア ご近所お助け隊支援事業

i) 生活支援ボランティアグループの立ち上げ・運営支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行う「生活支援ボランティアグループ」に対して、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを区社協とともに支援した。

ii) 生活支援ボランティアグループへの費用助成

「ご近所お助け隊支援事業」により、新規立ち上げ時の初期費用および運営体制強化の費用を助成した。

〔活動状況〕

区	団体数	立上げ助成数	運営強化助成数
東	13	2	7
博多	4	0	3
中央	3	0	1
南	8	0	2
城南	1	0	0
早良	7	0	2
西	5	0	2
合計	41	2	17

※重複あり

〔助成団体数・額〕 18団体・668,000円

イ 生活支援ボランティア研修会及び交流会（福岡市委託事業）

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶとともにお互いの活動状況や課題等の意見交換を行った。

実施日	講師	参加者(人)
2月12日	・主任介護支援専門員 照屋 広基氏 ・はまおう助っ人センター 本郷 清志氏 田北 隆喜氏	61

ウ 在宅介護者のつどい事業

i) 家族介護者のつどいの実施（一部福岡市委託事業）

家庭で寝たきり高齢者、認知症高齢者や障がい者を介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを18か所を実施した。

区	校区・町内・団体	実施日	会場	参加者(人) ※介護者のみ
東	香陵	10月30日	香陵公民館	38 (介護者以外も含む)
博多	春住（西春町）	9月26日	西春町会館	6
	板付北	8月31日	板付北公民館	12
	弥生	12月20日	弥生公民館	4
	那珂南	10月17日	那珂南公民館	16
	東光	3月13日	東光会館	8
	東月隈（下月隈団地）	3月12日	下月隈団地集会所	12
	博多区社協	8月3日	区保健福祉センター	3
		11月30日		7
		2月25日		8
	美野島	2月22日	美野島公民館	2
南	横手	8月22日	横手公民館	11
	野多目	11月9日	野多目公民館	17
	大楠	6月15日	大楠公民館	8
		10月18日		8
		2月14日		6
城南	七隈	5月26日	七隈公民館	3
		9月29日		4
		1月26日		4
	長尾	3月30日	長尾コミュニティスポット わくわく	11
早良	野芥	毎月1回 (第3金曜日)	野芥公民館	4
	飯原	毎月1回 (第1水曜日)	飯原公民館	2
	有田	6月22日	有田公民館	5
		2月13日		1
西	周船寺	2月6日	周船寺公民館	8

ii) 男性家族介護者のつどい「手軽にできる料理教室」(福岡市委託事業)

実施日	内容	参加者(人)
10月21日	男性の家族介護者を対象に、自宅で手軽にできる料理の講座と介護者同士の意見交換・懇談会を実施。	8

iii) 家族介護者のつどい～心と体の健康講座～(福岡市委託事業)

実施日	内容	参加者(人)
3月11日	日頃の介護から少し放れ、介護者自身の心と体の健康に目を向ける機会として、健康づくりに関する講座と介護者同士の意見交換・懇談会を実施。	24

iv) 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行う事業に取り組むとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みづくりに努めた。

2 ボランティアによる社会参加の拡大

(18,929千円)

(1) 社協ボランティアセンターの取組みの推進

ボランティア活動における課題解決力の向上と活動者やグループの増加を目指し、各種団体との連携により、活動の裾野を広げる取組みを進めた。

[グループ登録数の推移]

年度	28年度	29年度	30年度
グループ数	180	226	226 (うち新規登録14団体)

[30年度新規登録ボランティアグループ14団体のうち、登録要件の拡大によって登録が可能となったグループ(重複あり)]

法人格を有するもの	社会福祉以外の分野	有償の活動
3	1	3

(※登録要件の拡大とは、平成27年度に①法人格を有する②社会福祉以外の分野③有償の活動を行っている団体も登録可としたもの)

(2) シニアボランティアに関する取組みの推進

① シニア地域サポーター養成事業

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し修了者を地域の福祉活動につなぐ。

〔市社協〕

	内容	受講者(人)	活動開始者(人)
市	知的障がい者・発達障がい者支援ボランティア養成 [内容] ・障がいの理解、外出支援などの支援方法 ・施設でのボランティア体験など [講師] ・福岡市手をつなぐ育成会保護者会 会長 下山 いわ子氏 ・若久緑園 施設長 中村 隆 氏 ・ボランティアセンター職員	24	5

〔区社協〕

区	内容	受講者(人)	活動開始者(人)
東	シニア地域サポーター養成講座	19	5
博多	高齢者外出支援ボランティア養成講座	5	2
中央	シニア地域サポーター養成講座	19	9
南	シニア健康づくりサポーター養成講座	16	15
城南	シニアライフをいきいきと！おとなのためのトライアル講座	16	8
早良	傾聴ボランティア養成講座	22	0
西	キッズ支援チャレンジ講座	9	1
合 計		106	40

② シニアアシストふくおか

シニア世代(50代以上)に様々な地域活動やボランティアの団体情報を提供し、セカンドライフを支援した。また、シニアが活躍しているボランティアグループの育成、支援を行った。

ア 講座等の開催

実施日	内容	受講者(人)	備考
10月20日～12月1日 (全6回)	傾聴ボランティア入門講座	32	修了生有志でグループを結成し 高齢者施設で活動中
10月6日、13日	傾聴ボランティアスキルアップ講座(聞き書き講座)	-	台風接近のため中止

イ イベントへの参加

実施日	内容
10月24日	高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会
3月16日	アラカンフェスタ

③ 介護支援ボランティア事業（福岡市委託事業）

高齢者(65歳以上)の社会参加、生きがいづくりや介護予防を促進するため、介護保険施設等でのボランティア活動を奨励した。また、活動により付与されたポイントを、換金または寄付に活用していただいた。

〔活動者の状況〕

(平成30年12月末現在)

個人登録者(人)	1,970
登録施設(箇所数)	510
30年中の活動者(ポイント所有者)	1,012(登録者の51.4%)

換金申請者	人数	金額
奨励金交換者	658人	2,272,200円
寄付者	154人	390,200円
合計	812人	2,662,400円

※1日1時間以上の活動＝200ポイント＝200円に換金。換金の上限は5,000円。

〔活動内容〕

(平成30年1月～12月累計)

活動種別	延活動者(人)	活動種別	延活動者(人)
レクリエーション・囲碁将棋	7,400	食事介助の補助	671
芸能	6,745	行事の手伝い	135
話し相手	3,517	入浴介助の補助	144
清掃・衣類整理	1,058	その他	816
合計			20,486

(3) 災害ボランティア活動の推進

「災害ボランティアセンター運営マニュアル(平成24年11月策定)」の見直しを進めるとともに、災害NPO団体との連携体制づくりに努めた。

平成30年7月6日(金)に、西陵中学校グラウンドの擁壁が崩れ大量土砂が近隣道路や住宅地に流れ込む被害が発生した際には、関係機関の協議により、災害ボランティア活動の拠点として、西陵校区自治協議会・特定非営利活動法人YNF・一般社団法人ふくおかfun・西区社協・福岡市社協の協働で「西陵校区臨時災害ボランティアセンター」を開設し、支援活動を行った。

平成30年7月に発生した西日本豪雨では、福岡市との共同企画により災害ボランティアバスを運行するとともに、被災地で開設された災害ボランティアセンター運営支援として職員を派遣した。

また、災害ボランティアの活動拠点である災害ボランティアセンターのボランティアスタッフの人材育成を目的とした研修会を開催した。

① 西陵校区災害ボランティアセンター

実施期間	内容	延活動者(人)
7月7日～7月10日	家屋や道路上の土砂の撤去	約780

② 西日本豪雨被災地でのボランティア活動支援

ア 災害ボランティア講座（福岡市と共催）

実施日	内容	受講者(人)
7月12日	災害ボランティアの心構えなど	78

イ 福岡市ボランティアバスの運行（福岡市と共同運行）

〔実施日〕第1回8月17日～8月18日

第2回(8月23日)、第3回(9月13日)は天候不良のため中止

〔活動場所〕広島県坂町小屋浦地区

〔参加者数〕17人

ウ 災害ボランティアセンターの運営支援

福岡県社会福祉協議会からの要請に基づき、西日本豪雨の被災地である広島県坂町災害ボランティアセンターへ職員を派遣した。

※1クール：6日間

期間	内容	延べ派遣人員(人)
8月1日～9月7日	「災害ボランティアセンター」運営支援、現地でのニーズ調査、ボランティアの活動調整等	4

③ 防災イベント（関係機関との共働）への参加

ア 防災どんたく

実施日	会場	内容
3月1日～3月23日 (全6回)	イオンモール香椎浜 他5か所	地域防災活動の事例発表や救急救命法教室や防災体験教室の開催など

イ 福岡市総合防災訓練

実施日	会場	内容
6月9日	今津運動公園	ボランティアセンター、YNF、NPO法人福岡被災地前進支援の三者で熊本地震や九州北部豪雨での災害ボランティア活動の紹介やパネル展示

④ 災害ボランティアセンター研修会の開催

災害ボランティア活動拠点である「災害ボランティアセンター」のスタッフとしての役割を担う人材養成を目的に、「災害ボランティアセンター」その役割と運営について学ぶ研修会を開催した。

実施日	内容	受講者(人)
3月23日	講演 「災害ボランティア活動とボランティアセンターの役割」 演習 事例検討ワークショップ 講師 ひちくボランティアセンター スタッフ 松永 鎌矢氏	27

3 生活課題解決モデルの開発

(36,005千円)

(1) 移動支援・買い物困難者支援の仕組みづくり（一部福岡市委託事業）

① 地域との協働による移動支援モデル事業（福岡市委託事業）

地域団体に車両を貸し出し、ボランティアの運転・付添いにより高齢者の買い物を支援するモデル事業を、引き続き、東区香住丘校区において実施し、持続可能な仕組みの構築に向けて取り組んだ。

また、運転ボランティア確保の課題解消に向けて、地域の介護保険事業所に協力を依頼し、新たに2法人3事業所の運転ボランティアへの参画を得ることができた。（平成30年8月）

〔香住丘校区での年間実績〕

運行日数	延べ利用者数	利用率	走行距離
152 日	3,395 人	73.9%（登録者数:4,601 人）	5,217Km

② 住民参加型の買い物困難者支援の仕組みづくり

区社協において、宅配を行う店舗等を一覧にした「買い物支援ガイドブック」を更新するとともに、民間企業や社会福祉法人が所有するマイクロバスを活用した買い物支援バスの運行、社会福祉法人やNPO法人による移動販売の仲介、地域カフェなどでの青空市の開催支援など、ニーズやその地域の社会資源に合わせた買い物困難者への支援に取り組んだ。

(2) 住まいサポートふくおか（福岡市居住支援協議会事業）

住宅の確保に困窮する高齢者世帯を対象に、入居支援と入居後の生活支援をコーディネートした。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」を運営した。

また、支援対象を高齢者世帯から障がい者世帯へ拡大することを目指し、協力店や精神科病院、障がい者支援関係団体等へのヒアリングを行い、事業スキームの検討を行った。また、新年度からの東区でのモデル実施に向け、関係機関との調整や様式の整備を進めた。

〔登録・相談実績等〕

協力店登録社数	支援団体登録数	相談受付数	賃貸借契約締結数
44 社	14 団体	190 件	27 件

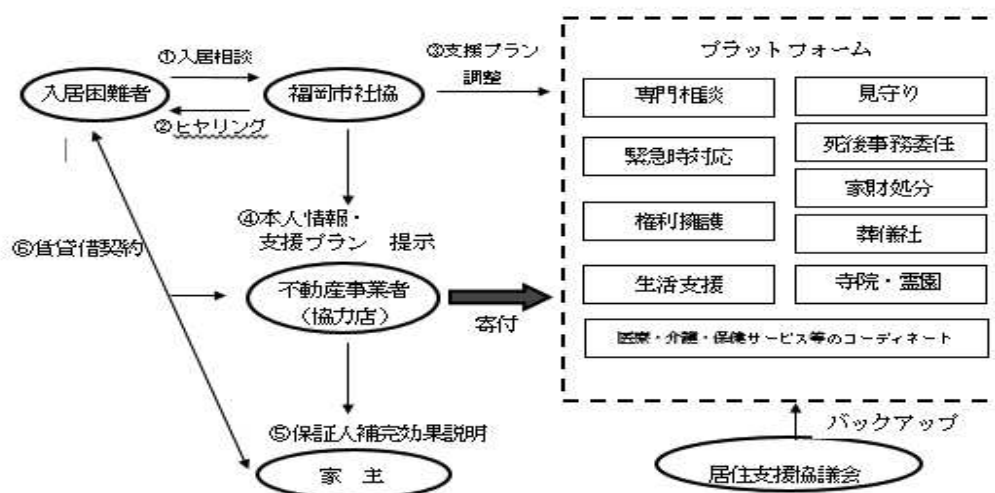
〔プラットフォーム連絡会議〕

実施日	内容
11 月 29 日	事業進捗報告、情報共有、意見交換等

〔障がい者モデルを検討するための意見交換会〕

実施日	内容
12 月 21 日	障がい者支援に関する意見交換

【住まいサポートふくおか フローチャート】



(3) 終活に関する事業

① 終活に関する取組み

終活に関する市民の意識や関心を高めるため、地域カフェなどの場で終活出前講座を実施したほか、終活セミナーを開催した。また、心配ごと相談所に月1回の終活相談窓口を設置し、個別の相談にも対応した。

これらの取組みを踏まえ、平成31年度は終活に関する取組みを強化することとし、終活相談窓口の常設化など「終活サポートセンター」の設置に向けた準備を進めた。

〔心配ごと相談所での相談実績〕

実施日	時間	相談員	開催日数	相談件数
第4月曜	13～16	終活アドバイザー	10	25

〔終活出前講座〕

実施日	開催場所・会合名	参加者(人)
7月13日	西花畑校区社協ふれあいネットワーク研修会	60
10月13日	四箇田団地(NPO 法人なごみの家)	30
11月15日	NPO 法人シニアネット福岡	10
2月7日	那珂公民館	27
2月9日	舞鶴校区徳栄寺	30
2月16日	周船寺校区ふれあいネットワーク研修会	20
3月16日	アラカンフェスタ	25
3月16日	宝台団地集会所	23

〔終活セミナー〕

実施日	内容	参加者(人)
2月23日	基調講演①:眞武純哉氏(終活パートナー九州 代表) テーマ:「知っておきたい!終活のあれこれ」 基調講演②:星野哲氏(立教大学社会デザイン研究所 研究員) テーマ:「終活と遺贈寄付」 事例紹介:藤本正明氏(SOS子どもの村) 荻野一信氏(国境なき医師団) 清海陽子氏(ワールド・ビジョン・ジャパン) 松崎 泉氏(セーブ・ザ・チルドレン)	87

② ズーっとあんしん安らか事業

近くに親族がいない高齢者が安心して生活できるよう、本人との死後事務委任契約に基づき、定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行うとともに、契約者が死亡した場合には、事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行った。

なお、より多くの方が利用できるよう、対象者の要件を変更したほか、現契約者へのサービス実施状況を踏まえ、入退院時支援サービスの見直しを行い、平成31年4月から適用することとした。

変更内容		新	旧
対象者要件	年齢	70歳以上の方	75歳以上の方
	親族	原則として子がない方	子がない方
サービス体系	入院時支援	入院前、入院時、入院中、通院時など、場面ごとのサービス体系	貴重品等の預かり、現金の払戻し、手続き代行など、支援メニューごとのサービス体系

〔対応件数〕

(件)

相談	153
新規契約	1
現契約	92
入退院支援	30
自宅・病院への臨時対応	97
葬儀・家財処分実施	4
解約	7

〔相談者の内訳〕 ※重複あり

(件)

サービス内容の情報収集		133
身元保証などサービス外の問合せ		8
やすらかパックを紹介		8
契約希望だが対象要件に当てはまらない		35
非該当となった 対象要件の内訳	親族要件	14
	契約能力	5
	生活保護	5
	年齢要件	9
	初期費用(預託金)	2

③ やすらかパック事業

「ずーっとあんしん安らか事業」の預託金の一括準備が困難な方に対応できるよう、少額短期保険を活用した利用料金の月払い制度により、死亡後の葬儀、納骨(永代供養)、家財処分の費用等を保険金で対応する死後事務事業を実施した。

また、より多くの方が利用できるよう、対象者の要件を以下の通り変更し、平成30年12月から適用を開始した。

要件	新	旧
年齢	40歳以上の方	65歳以上の方
保険審査	30%、50%割増条件は可	割増条件は一切不可

〔対応件数〕

(件)

相談	96
新規契約	9
現契約	20
葬儀・家財処分実施	0
解約	1

〔相談者の内訳〕 ※重複あり

(件)

サービス内容の情報収集		93
身元保証などサービス外の問合せ		5
契約希望だが対象要件に当てはまらない		20
非該当となった 対象要件の内訳	親族要件	0
	契約能力	1
	保険審査	17
	生活保護	2

(4)「地域の子ども」プロジェクト（一部福岡市委託事業）

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域住民との関係が薄く孤立して生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、「地域と子育て」「地域と教育」という視点から、子ども分野における地域福祉としての実践モデルの構築を目指すとともに、子どもに焦点を当てた支援ノウハウの蓄積を進めるプロジェクトに区社協とともに取り組み、地域住民や施設、大学、グリーンコープ、フードバンク等、多様な主体による取組みを支援した。また、平成30年度より市から委託を受け、団体同士の情報交換を目的とした交流会や、校区圏域での研修会を実施したほか、福岡市子どもの食と居場所づくり支援事業補助金の申請等の受付業務を含め団体の新設や運営の支援を行った。

[区社協が支援した居場所づくり]

区	校区・地区	名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
東	美和台	ななカフェ♥子ども食堂	○	○	
		立花サロン“のんびり”	○		
	香椎浜	ぼてとほうす	○	○	
	城浜	カモメの城	○	○	○
	舞松原	舞♥my キッチン	○	○	
	箱崎	ぼあんの樹	○	○	○
		無料学習スペースエルトコ			○
	香椎	えがお広場	○	○	
	香住丘	香住丘すまいるキッチン	○	○	
	馬出	「子どもサポート・ナルド」馬出こども食堂	○	○	○
博多	冷泉	わくわく広場	○	○	○
	春住	山王学舎こども食堂	○	○	○
	東住吉	ASOこども食堂	○	○	○
	奈良屋	ふくおかこども「おにぎり塾」	○	○	○
	板付北	いたきたこども食堂	○	○	
	大浜	おおはま寺子屋	○		○
	弥生	やよいの森	○		○
中央	笹丘	笹丘ふれあい食堂	○	○	○
	簗子	子ども食堂 絆	○	○	
	大名	グランマキッチンカフェ	○	○	○
	警固	警固 学び場			○
南	長住団地	子ども勉強広場	○	○	○
	三宅	ハレルヤ食堂	○	○	○
	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	弥永西	やにしスマイル	○	○	○
	東若久	子どものための自学室	○		○
		町内自学塾	○	○	○
	塩原	宮田学園子ども食堂	○	○	

城南	七隈	ななっこ料理道場	○	○	
	堤	テラ小舎ごはん	○	○	
	堤	スフィーダこども食堂	○	○	
早良	小田部	だいこんの花畑カフェ	○	○	
	有住	有住寺子屋	○	○	○
	四箇田	さわら子ども食堂	○	○	
	内野	こども食堂YOKAYOKAネット	○	○	○
	野芥	つくって食べよう土曜昼！	○	○	○
西	姪北	わいわいこどもキッチンプラス	○	○	○
	壱岐東	こども食堂「いきひがし」	○	○	
	城原	子ども食堂「タベルバ」	○	○	○

〔食と居場所づくり団体の交流・情報交換会〕

区	実施日	参加者(人)
東	11月12日	38
早良・西(合同)	1月18日	52
博多	2月1日	42
南	2月5日	20
中央・城南(合同)	2月15日	29

〔校区圏域研修会〕

校区	実施日
香椎浜	9月15日、2月2日
野芥	6月25日、2月16日

4 拠点型地域福祉の推進

(2, 455千円)

(1) 社会福祉法人(協賛者を要する)による地域における公益的な取組みに向けての協働

社会福祉法等の一部改正において、社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」が責務として規定されたため、区社協と連携し、地域のニーズを把握・整理し、福祉施設・事業所を運営する社会福祉法人や事業所連絡会等に情報を提供するとともに、地域で求められている福祉サービス等についての提案等を行った。

① 個別解決モデル創造事業

社会福祉法人等との協働により「買い物困難者支援」や「移動困難者支援」、「地域カフェ」、「認知症徘徊高齢者発見時相談対応」等の取組みを拡充した。

② 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣を107件コーディネートした。

(2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり

① 社会貢献型空家バンク事業

増加する空き家の地域密着型の居場所や住まいづくり、福祉活動の拠点づくりでの活用を進めるため、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組み作りを行うための専門家会議やコーディネーターの育成、相談受付を行った。また、空き家のニーズを発信するWEBサイトの試行公開を平成31年3月に開始した。

平成30年9月には東区香椎下原校区にある東区社協の受贈物件「なかしまホーム」を障がい者のシェアハウスとして活用を開始したほか、東区箱崎校区では旧商店を認定NPO法人によるフリースクールとして活用すべく、平成31年4月の開校を目指し準備を進めた。

② 「遺贈」リーフレットの作成

今後さらに遺贈ニーズへ対応するため、遺贈について積極的に広報し、様々な事業に活用していけるよう遺贈のリーフレットを作成し、司法書士、弁護士、行政書士、信託銀行、公証役場等へ配布した。

5 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

(268,088千円)

(1) 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化

福岡市が地域包括ケア推進のため実施している「生活支援体制整備事業」の委託を受け、4区(4包括圏域)に生活支援コーディネーターを配置した。

社協の生活支援コーディネーターは、地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの密着した関係性という強みを活かし、地域課題の把握や事業者等への参画を働きかけ、包括圏域や区域における社会資源の創出を支援するとともに、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めた。

また、生活支援コーディネーター業務を受託し、区社協のCSWが生活支援コーディネーター業務を経験することにより、CSWの役割機能の強化を図った。

配置区	主な支援内容
東	・町単位の生活支援ボランティアグループ立上げ、運営支援。 ・市実施の『地域との協働による移動支援モデル事業』(買い物支援)の担い手確保策として、施設・事業所・病院等の職員を運転ボランティアとしてつなぎ。
南	・サロンや地域カフェで体操等を実施するボランティアグループ(区域)の立上げ、運営支援。 (区役所との協働)
早良	・短大と連携し、サロンで体操等を実施する人材の育成を支援。 ・大学と連携し、高齢者支援に関する一定の研修を修了した企業の社員をサロンや見守りボランティアとして継続的に協力する仕組みづくりを支援。
西	・町単位のサロン立上げ、運営支援。 ・病院の理学療法士と連携し、サロンで体操等を実施する人材の育成を計画。

(2) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

社会福祉法等の一部改正において、社会福祉法人に対し「地域における公益的な取り組み」が責務として規定されたことに伴い、福岡県社会福祉法人経営者協議会と福岡県社協が主管する「ふくおかライフレスキュー事業」に区社協とともに参画した。

市・区社協内で毎月各区の取り組み状況等について情報共有を行ったほか、区単位の参加法人が集まる連絡会へ市社協からオブザーバーとして参加した。

〔支援状況〕 (平成30年4月～平成31年3月)

区	参加事業所数	地区連絡会回数	支援件数
東	5	5	2
博多	10	1	2
中央	8	3	0
南	5	3	6
城南	4	1	1
早良	11	6	2
西	14	6	2
合計	57	25	15

【ふくおかライフレスキュー事業】
福岡県内の社会福祉法人が資金・人材・専門性を持ち寄り、生活困窮者が抱える様々な課題を柔軟に解決していくための相談・支援事業。
緊急の対処として、参画する社会福祉法人が拠出した基金を活用し、食材支援やライフラインの復旧等、経済的援助（現物支給）を行う点に、この事業の特質がある。

6 権利擁護事業の拡充

(106,019千円)

(1) 判断能力が不十分な人の自立に向けた支援の強化～日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人たちが、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを、契約に基づき実施した。

また、判断能力が著しく低下した利用者については、本会による法人後見受任以外に、専門職による成年後見等につないだ。

〔対応件数〕 (件)

新規相談受付	305
新規契約	66
累計契約(平成12年1月～)	1,675

※事業開始からの累計解約件数1,202件(死亡・施設入所・成年後見制度への移行等による)

〔現契約件数〕 473件 (件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
223	84	163	3

(2) 法人後見事業の強化

「日常生活自立支援事業」や「ずーっとあんしん安らか事業」等の契約者を対象に、判断能力が低下した後でも安心した生活が送れるよう、「法人後見」を受任するなど継続的な支援に取り組んだ。

また、福岡市における成年後見制度の普及に向けて、関係機関が主催する会議に参加し、福岡市や家庭裁判所、専門職団体などと連携強化を図った。

〔法人後見受任内訳件数〕

(件)

新規受任	累計受任	現受任			終了
8	77	42			35
		認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	
		37	4	1	

〔市民参加型後見人バンク登録者数〕 34人

〔市民参加型後見人活動者数〕 18人

〔成年後見制度利用促進に関する主な会議〕

実施日	内容	主催
7月13日	第1回成年後見制度中核機関設置ワーキング	福岡市
7月18日	成年後見制度利用促進基本計画に関する打合せ	福岡家庭裁判所
9月10日	第2回成年後見制度中核機関設置ワーキング	福岡市
10月22日	福岡家庭裁判所後見センターとの意見交換	福岡家庭裁判所
11月8日	成年後見制度利用促進基本計画に関する打合せ	福岡家庭裁判所
12月10日	第3回成年後見制度中核機関設置ワーキング	福岡市
1月23日	第4回成年後見制度中核機関設置ワーキング	福岡市
2月5日	成年後見制度利用促進体制の強化に向けた情報交換会	福岡市
3月25日	第5回成年後見制度中核機関設置ワーキング	福岡市

(3) 市民後見人養成事業の推進（福岡市委託事業）

これまでに養成した市民後見人養成研修修了者(市民参加型後見人)に法人後見事業や日常生活自立支援事業の履行補助者として活動していただくとともに、新規に「福岡市市民後見人養成研修」を実施し、養成研修修了生17名が市民参加型後見人バンクに登録した。

さらに、市民参加型後見人が地域福祉の担い手として、見守り活動や成年後見制度の普及啓発活動等で活躍できるよう、区社協と共催して市民参加型後見人情報交換会を実施し、区社協及び市民参加型後見人に地域福祉活動に関する情報等の提供を行った。

〔福岡市市民後見人養成研修〕 全10回

実施日	内容	新規受講者(人)	市民参加型 受講者(人)
9月6日	認知症の理解	20	16
	福岡市の福祉制度―高齢者施策	20	14
	市民後見人の役割	20	12
9月19日	地域福祉活動・社会資源について	20	16
	成年後見制度の概要	20	18
9月25日	成年後見制度と家庭裁判所の役割	19	17
	コミュニケーションの基本	20	16
10月1日	障がい者の理解	19	13
	福岡市の福祉制度―障がい者施策	20	9
	日常生活自立支援事業と法人後見事業	20	9
10月11日	後見業務の実際(1) 財産管理	19	21
	後見業務の実際(2) 財産管理	20	18
10月26日	消費者被害について	19	11
	成年後見制度に係る意思決定支援	19	11
11月2日	社会保障制度について	16	14
	法テラスについて	15	12
11月19日	後見業務の実際(3) 身上監護	19	16
	後見業務の実際(4) 身上監護	20	13
11月30日	市民参加型後見人の活動紹介	20	14
	権利擁護・市民後見センター「らいと」	20	14
12月6日	成年後見制度の現状と課題	19	15
	研修の振り返りと今後の後見活動に向けて	20	13

7 地域福祉を推進するための基盤づくり

(804千円)

(1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育見直し構想の実践

平成28年度に策定した「コミュニケーションが難しい障がい(知的障がい、発達障がい)への理解や接し方を学ぶ福祉教育プログラム」の出前講座を実施するとともに、企業の社員向けのボランティアプログラムを収集・整理したプログラム集を作成した。

① 出前講座の実施

〔件数〕 7件

〔対象〕 企業、学校、地域団体等

② 「サラリーマン・サラリーウーマンなどのためのボランティアプログラム集」の作成

企業の社員向けのプログラム集を作成した。本会ホームページで近日中に公開予定である。

(2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進

① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

平成27年度に作成した「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」を使用し、個人情報の保護と活用に関する正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授等による出前講座を5か所で実施した。

区	校区	内容	参加者(人)
東	奈多校区社会福祉協議会	校区社協理事会	38
	香陵校区社会福祉協議会	ふれあいネットワーク研修会	42
中央	平尾校区社会福祉協議会	ふれあいネットワーク研修会	50
	赤坂校区社会福祉協議会	見守りネット発足準備会	13
城南	別府校区社会福祉協議会	ふれあいネットワーク全体会議	27

8 生活困窮者への支援の推進

(0千円)

生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携

生活福祉資金の相談時に、離職者を対象とした総合支援資金等を希望する人には、福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業の利用をすすめるとともに、該当する貸付について受付を行った。また、家計や債務上の課題がある人には、他機関の相談窓口等を紹介するなど、関係機関と連携して自立に向けた支援を行った。

〔福岡市生活自立支援センターとの相談連携件数〕 135件

また、平成29年7月に締結した「食品の受け渡しに関する合意書」に基づき、フードバンク福岡から提供された食品やその他企業等から提供された食品を、区社協等と連携し生活困窮者の支援に活用した。

〔フードバンク福岡から提供された食品数〕 1,174食(個)

〔その他企業等から提供された食品数〕 90食(個)

事業項目

1 小地域福祉活動の推進 (120, 418千円)

- (1) 校区社会福祉協議会強化への支援 〈再掲〉(P. 2)[重点項目1]
- (2) 地域特性に応じた福祉活動の展開 〈再掲〉(P. 2)[重点項目1①]
- (3) ふれあいネットワーク活動の拡充 〈再掲〉(P. 2～3)[重点項目1②ア]
- (4) ふれあいサロン活動の拡充 〈再掲〉(P. 3～5)[重点項目1②イ]
- (5) ご近所お助け隊支援事業 〈再掲〉(P. 5)[重点項目1③ア]
- (6) 生活支援ボランティア研修会及び交流会(福岡市委託事業) 〈再掲〉(P. 5)[重点項目1③イ]
- (7) 在宅介護者のつどい事業 〈再掲〉(P. 6～7)[重点項目1③ウ]
- (8) 地域カフェの支援

介護をしている人や要介護者、認知症高齢者等をはじめ、誰もが気軽に参加できるような集いの場「地域カフェ」の立ち上げ・運営の相談に応じ、地域住民や地域団体、公民館、地域の事業所・施設等との連携・協力体制づくりに向けたコーディネート支援をした。

(9) 安心情報キット、緊急時連絡カードの配付

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いたカードを筒に入れて冷蔵庫で保管することができキットを一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付した。

また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配布した。

[安心情報キット配付者数] 2, 276人

[緊急時連絡カード配布数] 5, 686枚

(10) 民生委員児童委員協議会との連携

共に地域福祉を推進する民生委員・児童委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会への活動費を助成した。

[補助金額] 7, 114, 200円

2 ボランティアによる社会参加の拡大 (35, 920千円)

- (1) 社協ボランティアセンターの取組みの推進 〈再掲〉(P. 7)[重点項目2(1)]
- (2) シニアボランティアに関する取組みの推進 〈再掲〉(P. 7～9)[重点項目2(2)]
- (3) 災害ボランティア活動の推進 〈再掲〉(P. 9～10)[重点項目2(3)]
- (4) ボランティア活動情報の収集・提供

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結び付くよう支援した。

① ボランティアコーディネーション事業

ア 個人ボランティア活動相談・登録 (件)

㊥活動相談(合計)	㊦対応状況	相談	その他※	マッチング率(㊦÷㊥)
450	327 (登録184、活動先紹介143)	84	39	72.7%

※「その他」の例

- ・家庭裁判所や自立支援センターからの活動相談に対しての調整
- ・芸能ボランティア活動希望者への芸能ボランティア情報冊子記載調整など

イ ボランティア依頼

(件)

㊤依頼合計	㊤対応	延べ対応ボランティア数	マッチング率(㊤÷㊤)
3,780	3,427	9,347	90.7%

〔依頼内容〕

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	701	遊び相手	168	身体介助	3
話し相手	571	点訳	630	訓練	0
日常生活援助	411	家事援助	150	その他	166
施設・団体の行事援助	609	朗読	34		
技術・学習指導	321	託児	16		
合計					3,780

ウ 登録ボランティア内訳

	30 年度新規登録(人)	現登録(人)
個人ボランティア	184	1,971
ボランティアグループ	14 団体・179	226 団体・5,825

② 施設等ボランティアニーズ調査

市内の福祉施設で募集しているボランティアの情報をまとめた「施設ボランティア募集情報」を作成した。

③ ボランティア情報紙「風」発行

ボランティアセンターに寄せられたボランティア募集やイベント・講座情報などを掲載した情報紙を発行した。

〔発行回数〕6回(偶数月発行)

〔発行部数〕約2,500部/回

④ 芸能グループ情報冊子発行

ボランティアセンターで把握している芸能グループの情報をまとめた冊子を作成した。

〔発行部数〕110冊

(5) 各種ボランティア養成講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて育成した。また、ボランティアグループの活動を支援した。

① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催した。

実施日	講座内容	受講者(人)
7月14日～8月11日(全4回)	視覚障がい者支援入門	22
8月9日～9月6日(全5回)	音訳	24
9月1日～9月15日(全3回)	視覚障がい者外出支援	16
9月22日	テキスト訳	22
3月7日	点訳(フォローアップ)	91

② 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行うボランティアを養成した。

実施日	講座内容	受講者(人)
10月9日～11月7日(全5回)	高齢者外出支援	5
2月2日・3日	バリアフリー映画支援	13

※高齢者外出支援ボランティア講座は博多区社協と共催で実施。

③ 「勤マルの日」事業

誰もが気軽に参加できるボランティア活動拠点を設定し、企業などが独自に企画した自主活動とあわせて行うイベント「勤マルの日」(一斉ボランティア実行Day)事業を、NPOふくおかと福岡県経営者協会と共催した。

実施日	会場	参加者(人)
11月17日 ～11月18日	福岡県内15か所(福岡市博物館、舞鶴公園、九州大学病院、福岡城址、楯の松原、九州がんセンター、生の松原海岸、葦の家、天神中央公園、海の中道海浜公園、警固公園、東領公園、脇田海岸、天神弁天橋、天神地区)	757

④ 社会福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会

福祉施設等のボランティア受入体制の整備・充実を図るため、施設・病院等のボランティア担当者を対象とした研修会を実施した。

実施日	テーマ	受講者(人)
2月27日	施設でいかにボランティアコーディネートをするか	38

(6) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行った。

① 登録ボランティアグループの状況調査

「センター登録ボランティアグループ一覧」を作成した。

② 活動拠点・資材・情報の提供

ボランティアルームなどの活動室、印刷室等の貸出を行った。

[件数]2,342件(延べ17,410人利用)

③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

社会福祉の推進を目的とした自主的な活動を支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会へ活動費を助成した。

[助成金]100,000円

④ 在宅視覚障がい者サービス事業等

点訳、音訳ボランティアグループが使用する機材の購入、メンテナンスを行った。

⑤ 助成金ニュースの発行

登録グループの活動を支援するため民間助成事業をとりまとめた「民間助成情報ニュース」を隔月で発行し、登録ボランティアグループへ情報を提供した。

⑥ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信

福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、66団体の芸能グループの動画を配信した。

⑦ ボランティアグループへの結成時支援【平成30年度事業終了】

登録ボランティアグループで結成から間もないグループの活動を軌道に乗せ、安定的な継続と活動内容の充実を図るため、活動経費の一部を助成した。

なお、ボランティアグループ結成時支援資金助成事業は、ボランティア活動振興基金の果実を財源に実施してきたが、近年の基金果実の減少により財源の確保が難しくなっていることから、平成30年度をもって助成事業は終了する。今後は民間助成団体の情報提供や申請を希望する団体の推薦を積極的に行うことにより、グループの支援を行う。

〔助成額〕 11団体 計320,000円

3 生活課題解決モデルの開発

(65,834千円)

- (1) 移動支援・買い物困難者支援の仕組みづくり〈再掲〉(P. 11) [重点項目3(1)]
- (2) 住まいサポートふくおか(福岡市居住支援協議会事業)〈再掲〉(P. 11～12) [重点項目3(2)]
- (3) 終活に関する事業〈再掲〉(P. 12～14) [重点項目3(3)]
- (4) 「地域の子ども」プロジェクト〈再掲〉(P. 15～16) [重点項目3(4)]
- (5) ファミリー・サポート・センター事業の拡充(福岡市委託事業)

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めた。

〔会員登録状況〕

(人)

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
6,350	1,138	807	8,295

〔活動内容及び回数〕

(回)

	活動内容	回数
1	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	2,706
2	子どもの習い事等の場合の援助	2,222
3	保護者等の買い物等外出の場合の援助	1,208
4	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	995
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	719
6	(その他)保育所・幼稚園の迎え 保育所・学校等休み時の援助 小学生の放課後の預かり(送迎含む) 障がい児のサポート 等	5,006
合計		12,856

〔講習会・交流会等の実施〕

- ・依頼会員登録講習(支部:月～金曜日、本部:第3土曜日)
- ・提供・両方会員養成講習会(5回、受講者延べ617人)
- ・フォローアップ講座(2回、受講者延べ37人)
- ・会員交流会(9回、参加者延べ196人)
- ・活動未体験会員のための「あずかりっこ」(12回、参加者延べ200人)
- ・会員リーダー連絡会の実施(1回)

(6) 子育てサロン・サークルの支援

子育てサロン・サークルの活動内容の充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした、子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施した。

(7) 心配ごと相談所の開催【平成30年度事業終了】

市民福祉プラザ内の「心配ごと相談所」において、市民からの日常生活や福祉に関するさまざまな相談に対し、民生委員・児童委員、弁護士及び行政書士による助言等を行った。

なお、本相談所は、事業開始後67年を経過し、その間の行政・公益団体による相談窓口の充実や市民ニーズの変化など事業をとりまく環境の変化を反映して、来所相談は年々減少傾向にあり、相談内容も、事業開始当初に対象としていた市民の生計・福祉に関するものから財産・法律に関するものへと変遷してきていたことなどから、一定の役割を終えたものとして、平成31年3月31日をもって閉所した。

〔実施日時・開催日数〕

種別	実施日	時間	相談員	開催日数
一般相談	第2・4月曜	10～12	民生委員・児童委員	18
終活相談	第4月曜	13～16	終活アドバイザー	10
法律相談	第2・4水曜	13～16	弁護士	24
遺言・相続・離婚 成年後見に関する相談	第2・4金曜	13～16	行政書士	22
合計				74

〔相談状況〕

種別	件数	種別	件数	種別	件数
財産	62	住宅	11	医療・保健	1
家族	19	生計・年金	2	職業・生業	3
結婚・離婚	23	福祉	9	事故	2
人権・法律	9	苦情	4	その他	15
終活	25	—	—		—
合計		185件	1日平均		2.5件

〔相談結果〕

区分	相談所解決	継続	民生委員紹介	他機関紹介	その他	合計
件数	130	1	0	53	1	185

(8) 福祉用具リサイクル斡旋事業の実施【平成30年度事業終了】

不用になった福祉用具の斡旋を通じ、福祉用具のリサイクルを推進するとともに、福祉用具の普及と在宅介護の負担軽減を図った。なお、平成13年度から実施していた本事業は、介護保険制度及び障害者総合支援法による福祉用具の貸与・給付が一般化するなど、各種福祉サービスも普及・充実してきたことに伴い、事業開始当初の目的は達成できたものと判断し、平成30年9月30日をもって終了した。

〔登録〕

区分	車いす・ 電動車いす	ベッド・ 電動ベッド	歩行支援用具	その他	合計
提供希望者(人)	11	4	1	3	19
譲受希望者(人)	15	4	2	4	25

〔幹旋〕

成立	取り下げ
26(13組)	11

(9) 車いす、リフトカーの貸出

① 車いすの貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の社会参加等の機会拡大のため車いすを貸し出した。

〔貸出件数〕190件(延べ台数598台)

② リフトカーの貸出【平成30年度事業終了】

歩行が困難な高齢者、障がい者等の社会参加等を支援するために、リフトカー2台を貸し出した。なお、本事業は車両の老朽化並びに事業を開始した平成3年当時に比べ福祉サービスや福祉車両を取り巻く環境も充実していると判断し、平成30年9月30日をもって、終了した。

〔貸出件数〕44件(延べ日数85日)

4 拠点型地域福祉の推進

(4, 455千円)

(1) 社会福祉法人(施設や事業所を運営する)による地域における公益的な取組みに向けての協働〈再掲〉(P. 16)〔重点項目4(1)〕

(2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり〈再掲〉(P. 17)〔重点項目4(2)〕

(3) 第61回大都市社会福祉施設協議会福岡市大会の開催

全国の指定都市の社会福祉施設関係者、社会福祉協議会、行政が一堂に会し研究協議を重ねる場として、大都市社会福祉施設協議会が主催する大会の事務局運営を行った。

実施日	会場	内容	参加者(人)
6月7日 ～6月8日	ヒルトン福岡 シーホーク ホテル	1日目:運営協議会、基調講演、種別研究会(①経営研究会、②高齢福祉研究会、③児童福祉研究会、④保育福祉研究会、⑤障がい福祉研究会、⑥生活福祉研究会)、交流会 2日目:総会・全体報告、特別講演	295

5 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

(268, 088千円)

(1) 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化〈再掲〉(P. 17)〔重点項目5(1)〕

(2) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化〈再掲〉(P. 18)〔重点項目5(2)〕

6 権利擁護事業の拡充

(106, 019千円)

(1) 判断能力が不十分な人の自立に向けた支援の強化～日常生活自立支援事業〈再掲〉(P. 18)〔重点項目6(1)〕

(2) 法人後見事業の強化〈再掲〉(P. 19)〔重点項目6(2)〕

(3) 市民後見人養成事業の推進(福岡市委託事業)〈再掲〉(P. 19～20)〔重点項目6(3)〕

7 地域福祉を推進するための基盤づくり

(343, 205千円)

(1) 福祉教育推進計画に基づく福祉教育見直し構想の実践〈再掲〉(P. 20) [重点項目7 (1)]

(2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進〈再掲〉(P. 21) [重点項目7 (2)]

(3) 福祉学習の推進(福祉学習教材の提供、出前福祉講座)

学校や、地域、市民、企業に対し、福祉についての学習の機会や教材等を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図った。

① 福祉学習教材の提供

ア 中学生向けボランティア活動教材

共生社会の実現に向けて、ボランティア活動やユニバーサルデザインに関する理解を深めるための教材として、「わたしもあなたもボランティア」をホームページに掲載した。

イ 福祉体験学習マニュアル「福岡市の福祉教育お役立ちBook」

学校で実施される福祉体験学習で活用することを目的として、体験や見学、物品貸出等に関する情報をまとめたマニュアルを配布した。

[配布先]市内の小中学校

[作成数]270部

② 出前福祉講座

福祉やボランティア活動の理解を深めるため、学校、企業等に出向き、障がい者疑似体験、高齢者疑似体験等を行う出前福祉講座を実施した。

[件数]36件

[対象]公民館、学校、企業、地域団体等

(4) ホームページや広報紙を通じた情報発信

① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行

福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布した。

[発行回数]2回(第118号・第119号)

[発行部数]17,000部/回

② ホームページの運営

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより最新情報の発信を行った。

[アクセス数]297,859件/年

(5) 福祉のまちづくり推進大会の開催

市民や福祉関係者を対象に、福祉功労者の表彰や福祉活動の紹介、記念講演の実施を通じて、市民一人ひとりの福祉についての関心を高めるきっかけ作りを行った。

実施日	会場	内容	参加者(人)
11月2日	福岡市民会館	記念講演:「家族の絆、地域の絆 ～講談でよくわかる成年後見制度と介護のお話し～」 講師:神田 織音 氏(講談師) 福祉活動紹介:さわら南よかとこネット、早良校区社会福祉協議会、入部校区自治協議会	1,500

(6) 市民福祉プラザの運営

市民福祉プラザの指定管理者(本会を代表構成団体とする(株)旭商会との共同事業体)として、市民が安心して利用できるように管理運営を行うとともに、入居団体等と連携して研修や啓発事業、相談事業等を実施し、市民の福祉への理解や福祉活動への参加を支援した。

① 貸室運営

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行った。

〔施設全体の利用延人数〕294, 792人(詳細は別表1(P.41))

② 障がい者作品展、利用団体写真展等の実施

ア 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせてレストラン内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示した。

〔実施日〕12月1日～27日 〔参加数〕8施設・団体、44作品

イ ふくふくプラザ写真展

写真を趣味としてプラザを利用している高齢者団体や障がい者団体等を対象に、生きがい活動の支援と利用団体相互の交流を図ることを目的に、写真展を開催した。

〔実施回数〕5回(5月2日～7月14日) 〔参加数〕9団体、190作品

ウ 一人親家庭親子クッキング教室

料理を通じて親子のコミュニケーションを図るとともに、食事の大切さ、食を通じて生きる力を育むことや健康・福祉の増進について学ぶことを目的に、一人親家庭親子クッキング教室を開催した。

〔実施日〕7月21日 〔参加数〕3家族

エ デジカメ写真入門講座 in ふくふくプラザ

高齢者の社会参加を図ることを目的に、趣味として写真を始めたい人を掘り起こし、写真の知識や楽しさを学ぶデジカメ写真入門講座を開催した。

〔実施回数〕2日間 〔参加数〕20人

③ 福祉映画鑑賞会の開催

障がい者も一緒に鑑賞できる副音声や字幕入りの福祉映画鑑賞会を開催し、市民の福祉意識やボランティア意識の高揚を図った。

開催日	内容	来場者(人)
8月4日	映画「すれ違いのダイアリーズ」	129

④ みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭の開催

市民福祉プラザを、福岡市における民間福祉団体の活動拠点として、広く市民に周知するとともに、福祉活動の啓発を図るため、福祉関係団体や地元地域団体、民間企業等の協力を得て、バリアフリー映画の上映を柱に、プラザ利用団体の発表、各種イベント、研修、展示即売会などを行った。

開催日	参加団体・企業	来場者(人)
12月8日	24団体・1社	延べ3,479

⑤ プラザ相談窓口研修会の開催

実施日	内容	受講者(人)
11月26日	想いに寄り添い、想像する「傾聴力」と「質問力」 講師: 特定非営利活動法人日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡 郁雄 氏	26

⑥ とうにん・ふくふくコンサートの開催

ふくふくホールの「音響の良さ」を十分に活用し、「どなたでも良質な音楽を楽しめる」音楽会を、当仁校区自治協議会、当仁公民館、学校等と共催して開催した。

〔開催回数〕6回 〔参加者合計〕1,000人

⑦ プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行い、意見をふまえてプラザ運営の改善を行った。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議した。

- ・プラザ入居団体連絡会(年6回)
- ・視覚障がい者団体やボランティアグループ等との懇談会(年1回)
- ・当仁校区自治協議会連絡会への参加(年8回)
- ・団体連絡室利用団体との懇談会(年1回)

(7) 市民福祉講演会の開催

「子ども・若者」「高齢者・認知症」問題等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催した。

実施日	内容等	参加者(人)
〈第1回〉 6月15日	「不登校・ひきこもり・ニート等、困難を抱える子ども・若者の自立支援」 講師:NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏	243
〈第2回〉 9月11日	「認知症になっても暮らし続けられるまちづくり」～一人の百歩より百人の一步～ 講師:医療法人社団誠仁会 小規模多機能施設めおといわ「ゆい」 施設長 党 一浩 氏	227
〈第3回〉 11月29日	「住民主体の避難所運営と災害に備えた地域づくり」～熊本地震の経験から～ 講師:熊本学園大学社会福祉学部 教授 高林 秀明 氏	186

(8) 福祉図書・情報室の運営

① 利用状況

内容	図書	ビデオ・DVD	インターネット貸出延長
蔵書数	31,191 冊	1,240 本	
利用状況(貸出数)	9,809 冊	737 本	662 件

〔利用者数〕延べ34,944人(新規登録者数428人)

〔レファレンス数(調べもの相談)〕849件

② 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供した。

〔利用者数〕延べ257人

(9) 福祉バス事業(福岡市委託事業)

福岡市からの委託を受け、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行った。

〔利用台数〕

(台)

老人クラブ	障がい児・者団体	公民館高齢者教室	その他	合計
477	141	71	54	743

(10) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉施設従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施した。

研修対象	研修事業名	受講者(人)
民間社会福祉施設従事者 社会福祉関係団体職員等	新任職員研修Ⅰ【社会1年目】(2日間)	59
	Ⅱ【社会2～3年目】(2日間)	53
	中堅職員研修(2日間)	70
	リーダー研修(指導的職員研修)(2日間)	48
	福祉施設等職員のための「地域とのつながり」講座	40
	相談面接技術研修	53
	救急法研修(3回実施)※うち1回は台風のため中止	124
	福祉レクリエーション研修(3回実施)	200
	人権研修	57
	接遇研修	63
合計		767

(11) 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

民間社会福祉施設などに従事する職員の福利厚生の推進を目的に事業を実施した。

(詳細は別表2(P.42～43))

加入契約法人数	施設数	加入職員数(人)
127	174	4,790

(12) 福岡市保育士人材確保事業

福岡市内の保育士人材の確保を目的に、保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人(潜在保育士)への再就職支援のための貸付事業を実施した。

① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
162	34,622,865	32,888,315

② 就職準備金貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
119	34,760,910	34,634,214

(13) 福岡市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする「ひとり親家庭の親」を支援するため入学や就職準備金の貸付を行った。

貸付種類	貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
入学準備金	23	11,500,000	11,500,000
就職準備金	27	5,400,000	3,200,000

(14) 福祉の職場面談・説明会

福岡市老人福祉施設協議会が主催する高齢者の福祉・介護業務への従事希望者を対象にした施設職員による面談・説明会を福岡市中央公共職業安定所とともに共催した。

〔主催〕福岡市老人福祉施設協議会

〔共催〕福岡中央公共職業安定所、福岡市社会福祉協議会

実施日時	参加法人数	延来場者数(人)
10月14日 11時～16時	34	30

(15) 福岡市児童福祉施設球技大会

乳児院や児童養護施設に入所する児童の福祉向上を目的とした球技大会の開催を支援した。

〔主催〕福岡市乳児院児童養護施設協議会

〔共催〕福岡市、福岡市社会福祉協議会

〔参加施設〕和白青松園、福岡育児院、福岡子供の家

実施日	会場	種目
6月17日	博多体育館	バレーボール
	山王公園野球場	軟式野球

(16) 社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入を行った。

〔期間〕8月16日～9月15日 24日間

〔人数等〕1人(筑紫女学園大学)、1人(久留米大学)、1人(福岡県立大学)

(17) 施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付した。

〔対象〕41法人・43施設

〔補助金額〕5,701,650円

(18) 共同募金、寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進（共同募金配分、奉仕銀行等）

① 校区社協への活動支援（共同募金配分事業）

区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援した。

〔助成額〕52,199,254円

② 奉仕銀行運営事業

ア 寄付の受入

本会に寄せられた寄付の受け入れを行い、寄付者の意向に沿って社協事業で活用した。

区分		件数	金額
ボランティア活動振興基金		1	22,222
市社協事業費	①市社協事業全般	176	2,917,526
	②権利擁護事業	3	3,389,659
	③住まい・住まい方に関する相談支援事業	4	108,640
	④死後委任事務に関する事業	6	184,220
	⑤生計困難者に対する相談支援事業	0	0
	⑥その他	2	300,000
	小計	191	6,900,045
寄付金合計		192	6,922,267
現物寄付		0	0
合計		192	6,922,267

イ 福祉団体への配分

市に寄せられた寄付金(補助金)を財源に、奉仕銀行配分金として団体に配分を行った。

件数	金額(円)	備考
13 団体	2,571,168	13団体に対し、備品購入費として配分

③ 「福岡市母子福祉会芙蓉基金」ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行った。

〔助成団体〕6団体 〔助成金額〕653,600円

④ 歳末たすけあい運動募金配分事業

歳末たすけあい運動募金の配分を受け、福祉作業所の利用者等に対し、見舞金を贈呈した。また、校区社協等の団体が歳末時期に実施する事業の経費を助成した。

事業区分	対象者・団体	件数
助成事業	子育て支援団体	173
	障がい児者支援団体	87
	社会的課題支援団体	7
	交通遺児支援団体	1
	里親会支援団体	1
	地域活動支援センター	13
見舞金品贈呈事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ)	6 (1,000パック)

8 生活困窮者への支援の推進

(36, 385千円)

(1) 生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との連携〈再掲〉(P. 21) [重点項目 8]

(2) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図った。

① 貸付件数

資金種類	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
福祉資金(福祉費)	109	30,367,000	28,504,012
福祉資金(緊急小口資金)	140	13,572,000	11,099,723
教育支援資金	468	223,481,000	131,521,965
総合支援資金	19	8,215,705	31,158,370
不動産担保型生活資金	10	127,050,000	69,610,470
臨時特例つなぎ資金	0	0	286,000
合計	746	402,685,705	272,180,540

※福岡県社協が事業の主体となっており、福岡市社協では貸付の相談及び受付を行っている。

② 資金種別相談件数

資金種別	件数
福祉資金	1,518
緊急小口資金	1,126
教育支援資金	2,153
総合支援資金	327
不動産担保型生活資金	209
臨時特例つなぎ資金	7
その他(貸付対象に非該当など)	595
合計	5,935

③ 生活福祉資金貸付調査委員会の開催

平成30年度は、調査委員会に諮る案件(福祉資金生業費)の申込みがなかったことにより、開催実績なし。

④ 臨時特例つなぎ資金(再掲)

公的給付制度の申請が受理された住居のない離職者を対象に、当該給付が開始されるまでの生活に必要な資金の貸付相談を行った。

相談	受付	決定	貸付総額
7件	0件	0件	0円

(3) 福岡市生活保護世帯等一時貸付金事業（福岡市委託事業）

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付を行った。

区分	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	2,420	28,662,000	28,455,000
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	1	20,000	35,000
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	55,000
合計	2,421	28,682,000	28,545,000

9 運営等及びその他

(193,708千円)

(1) 会務の運営（理事会・評議員会）

① 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人) または決議の 省略の場合は 同意者等(人)
＜第1回＞ 5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告 ・平成29年度収支決算 ・事務決裁規程の一部改正案 ・職員退職手当支給規程の一部改正案 ・役員の報酬等に関する規程の一部改正案 ・評議員選任候補者の推薦 ・平成30年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集 [法定報告事項] ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について	理事 11 監事 3
＜第2回＞ (決議の省略) 6月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任候補者の推薦 	理事 14 監事 3
＜第3回＞ 1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定 ・経理規程の一部改正案 ・平成30年度資金収支補正予算案 ・定款の一部変更案 ・役員等の費用弁償に関する規程の一部改正案 ・平成30年度第2回評議員会(臨時評議員会)の招集 [報告事項] ・法人の組織統合について ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について ・第5期地域福祉活動計画 中間年見直し作業の実施について	理事 11 監事 3

<第4回> 3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・7区社会福祉協議会との合併契約の締結及び認可申請 ・平成31年度事業計画案 ・平成31年度資金収支予算案 ・事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案 ・職員就業規則の一部改正案 ・職員の給与に関する規則の一部改正案 ・役員の報酬等に関する規程の一部改正案 ・平成30年度第3回評議員会(臨時評議員会)の招集 	理事 11 監事 3
----------------	---	---------------

② 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人) または決議の 省略の場合は 同意者等(人)
<第1回> (定時評議員会) 6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告 ・平成29年度収支決算 ・役員の報酬等に関する規程の一部改正案 ・理事の選任 	23
<第2回> (臨時評議員会) 1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度資金収支補正予算案 ・定款の一部改正案 [報告事項] <ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選任について ・法人の組織統合について ・第5期地域福祉活動計画 中間年見直し作業の実施について 	25
<第3回> (臨時評議員会) 3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・7区社会福祉協議会との合併契約の締結及び認可申請 ・平成31年度事業計画案 ・平成31年度資金収支予算案 ・役員の報酬等に関する規程の一部改正案 	26

③ 評議員選任・解任委員会の実施

決議があった日	内容等	委員(人)
6月13日(決議の省略)	評議員の選任	5

④ 監査の実施

実施日	監査事項等	出席者(人)
5月15日	業務執行の状況及び財産の状況を監査	3

(2) 市社協・区社協の組織統合に向けた取組み

地域福祉活動の推進に一層注力できるよう、理事会・評議員会や登記などの法人事務の集約や事務の効率化を図るため、令和2年4月から各区社協の法人組織を市社協に統合する準備を進め、理事会・評議員会、各区社協校区社協会長会等の場で説明し、了承を得た。

統合後も、各区に市社協の常設委員会として運営部会を設置するなど、区の実情に合わせた組織運営を継続していくこととしている。

(3) 第5期地域福祉活動計画の中間年見直しの実施

現行の第5期計画の中間年にあたる年度であったことから、「第5期地域福祉活動計画中間年見直し委員会」を組織し、見直し作業を実施した。また、委員会と並行して、校区社協や地区民児協会長、校区自治協会長等が参加する会議の場などをとらえて意見の聴取を行いながら作業を進めた。

実施日	協議題	委員構成 (選出母体)
〈第1回〉 10月9日	①中間年見直しの方針 ②7つの各重点項目に関する取組みの検証 ③新たな事業展開や構想づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・校区社協 ・民児協 ・自治協 ・社会福祉法人 ・学識経験者 ・行政機関 ・福岡市社協
〈第2回〉 12月5日	①総合的評価 ②今後の総合的方針 ③第5期計画後期の更なる取組みの重点化 ④第6期計画策定に向けての特段の取組み等が必要と思われる事項	
〈第3回〉 2月28日	①見直し原案 (第5期計画後期の取組みと第6期計画に向けての展開)	

(4) 職員の資質向上と人材育成（職員研修、資格取得への支援）

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めた。

(5) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用した。

(6) 財源の確保（会員の拡充、寄付つき商品の開発等）

福岡市ボランティア活動振興基金の管理運営を行うとともに、ホームページのバナー広告など自主財源の確保に努めた。

① ファンドレイジング（寄付つき商品の開発）

社会貢献を希望する企業等とともに、本会への寄付つき商品を開発した。

※平成25年7月事業開始からの累計 4,270,446円

企業名	寄付内容	実績
株式会社ラック 覚書締結日:H25.6.18	「ずーっとあんしん安らか事業応援プロジェクト」 市内在住者施行1件につき200円	1,480件 296,000円
株式会社ライフエッジ 覚書締結日:H26.3.18	「地域課題のお片付けプロジェクト」 福祉関係者からの相談による家財片付け遺品整理引越し 1件につき1,000円	107件 107,000円

翼行政書士・ 社会福祉士事務所 覚書締結日:H26.12.4	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼 1 件につき 200 円	121 件 24,200 円
株式会社友心 覚書締結日:H27.6.2	「セカンドライフ応援隊～ずーっとあんしんこれから人生～」 遺品整理・特殊清掃 1 件につき 200 円	56 件 112,000 円
九州通信ネットワーク 株式会社 覚書締結日:H28.5.19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき 10 円	41,257 本 412,570 円
一般社団法人 プラスらいふサポート 覚書締結日:H28.8.26	「介護施設の入居・身元保証支援」プロジェクト 身元保証の相談 1 件につき 1,000 円	8 件 8,000 円
宗教法人 清法山 徳純院 覚書締結日:H30.1.1	「ずーっとあんしん納骨堂」 本会を含む福祉関係者より紹介・案内があり、納骨につな がった場合 1 件につき 1,000 円	10 件 10,000 円
株式会社大原キャリア スタッフ九州 覚書締結日:H30.11.19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げの 2%	756 円
合計		970,526 円

② ボランティア活動振興基金の造成

ボランティア活動振興のために設置した基金に寄付等を積み立て、ボランティア活動を推進するための財源確保に努めた。

内訳	件数	金額(円)
奉仕銀行ボランティア特定寄付金	1	22,222
福岡市ボランティア活動振興基金補助金	—	104,000
合計		126,222

〔平成30年度末基金額〕653, 123, 442円

③ その他の財源の確保

内訳	件数	金額(円)
会費(正会費・賛助会費)	47	478,000
ホームページバナー広告	1	50,000
車いす等貸出料	—	28,900
外部講師謝礼	—	458,187
実習生受入謝礼	4	154,000
使用済み切手売却益	—	223,000
合計		1,392,087

④ 先進NGO/NPO・地域福祉団体寄付文化醸成及びファンドレイジング連携協定締結

先進的なファンドレイジング技術の提供を受けるとともに、市民の寄付文化醸成を図る事業を行う下地を整えることを目的に、連携団体である国境なき医師団日本、プラン・インターナショナル・ジャパン、セーブ・ザ・チルドレン、ワールド・ビジョン・ジャパン、日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET から講師派遣を受け、職員向け研修等を実施した。

実施日	内容	受講者(人)
9月5日	第3回地域福祉専門職研修	32
2月23日	終活セミナー(再掲)	87

(7) 収益事業の実施(市民福祉プラザレストラン運営、自動販売機の設置)

プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用した。

(8) その他の社協事業

① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中に亡なられた人のご冥福を祈り、恒久平和への誓いを新たにすため、地域団体とともに追悼式を実施した。

実施日	会場	参加者(人)
6月19日	福岡市戦災記念碑前(博多区冷泉公園内)	269(うち、遺族31)

② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動을続け、その功績が顕著な個人、団体に対し「福岡市福祉のまちづくり推進大会」にて表彰を行った。

〔福岡市社会福祉協議会会長 表彰〕137人・29団体

〔福岡市社会福祉協議会会長 感謝状〕137人・33団体

③ 老人の日関連事業

「老人の日」を記念して、高齢者に対し敬愛の念を示し、100歳を迎える高齢者に祝状と記念品を福岡市とともに贈呈した。

〔対象〕364人

④ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を幅広く汲み取り、苦情解決に取り組んだ。

⑤ 友愛訪問事業

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行った。

〔補助金額〕3,002,877円

⑥ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、補助金を交付した。

〔対象〕3団体

〔補助金額〕1,830,000円

⑦ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し福岡市の補助金を財源として事業費の助成を行った。

〔助成箇所数〕13か所

〔助成額〕4, 800, 000円

⑧ 視察の受入

団体等からの依頼に応じて視察の受入を行った。(延べ44団体、527人)

(詳細は、別表3(P.44～45))

⑨ 講演等の依頼

団体等からの依頼に応じて講演等を行った。(延べ31団体、1, 555人)

(詳細は、別表4(P.46))

【別表 1】

福岡市市民福祉プラザ 利用状況

区分			利用状況	
貸 出 施 設	ふくふくホール	利用日数	262	日
		利用者数	39,878	人
	会議室(3 室)	利用日数	964	日
		利用者数	34,186	人
	研修室(7 室)	利用日数	2,179	日
		利用者数	94,154	人
	和室・実習室(7 室)	利用日数	1,731	日
		利用者数	43,376	人
	交流ひろば	利用日数	248	日
		利用者数	8,276	人
	計	利用日数	5,384	日
		利用者数	219,870	人
そ の 他 の 施 設	福祉用具展示場	利用者数	20,142	人
	施設見学	団体数	73	団体
		利用者数	1,700	人
	ボランティアルーム等	利用件数	2,983	件
		利用者数	18,136	人
	福祉図書・情報室	開室日数	340	日
		利用者数	34,944	人
		新規登録者数	428	人
		貸出冊・本数	10,546	冊
		対面朗読	257	件
	計	利用者数	74,922	人
利用者総数			294,792	人
開館日数			346	日
1日平均利用者数			852	人

【別表 2】

福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業 事業実施状況

(1) 給付事業

内容		決算額	
種別	単価(円)	件数	金額(円)
結婚祝金	30,000	143	4,290,000
出産祝金	30,000	131	3,930,000
入学祝金	30,000	190	5,700,000
義務教育修了祝金	30,000	95	2,850,000
死亡見舞金		81	2,238,000
本人	100,000	0	0
被扶養者	70,000	3	210,000
その他	26,000	78	2,028,000
傷病見舞金	40,000	10	400,000
災害見舞金		2	60,000
全焼(壊)	100,000	0	0
半焼(壊)	70,000	0	0
その他	30,000	2	60,000
小計		652	19,468,000
退会一時金	支給率で算出	596	58,492,853
合計		1,248	77,960,853

(2) 貸付事業

内容		決算額	
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)
生活資金		8	1,240,000
5 年未満	70,000	1	70,000
5 年未満	100,000	1	100,000
5 年未満	120,000	1	120,000
5 年以上 10 年未満	150,000	1	150,000
10 年以上	200,000	4	800,000
慶弔資金	250,000	0	0
医療資金	250,000	0	0
入学資金		4	1,750,000
高校	250,000	1	250,000
大学	500,000	3	1,500,000
罹災資金	500,000	0	0
合計		12	2,990,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区 分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5 年	5,000	239	1,195,000
10 年	10,000	135	1,350,000
15 年	10,000	80	800,000
20 年	15,000	32	480,000
25 年	15,000	38	570,000
30 年	20,000	10	200,000
35 年	20,000	9	180,000
送料・挨拶状印刷費			100,450
合計		543	4,875,450

(4) 保養所事業

内 容		決算額	
区分	補助額(円)	件数	金額(円)
大人	2,500	81	202,500
小人	1,200	20	24,000
合計		101	226,500

(5) 文化体育事業

内 容		決算額	
区分	補助額(円)等	件数	金額(円)
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限 4,000 円	4,942	※15,507,000
映画鑑賞補助	費用の一部	11,153	3,703,890
観劇補助	費用の約 1/2	408	1,701,660
プロ野球観戦補助	費用の約 1/2	396	1,065,375
Jリーグ観戦補助	費用の約 1/2	40	60,000
海浜プール利用補助	費用の一部	601	350,810
スポーツ施設利用補助	費用の一部	100	100,000
その他補助	費用の一部	325	750,424
合計		17,965	23,239,159

※文化鑑賞券15, 507, 000円のうち420, 000円は市補助金収入

【別表3】

視察の受入

(人)

団体名	視察内容	人数
鹿児島県居住支援協議会	住まいサポートふくおか	6
大分市議会	ずーっとあんしん安らか事業	1
一般社団法人 日本尊骨士協会	ずーっとあんしん安らか事業	1
松江市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業	4
和泊町社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業、 住まいサポートふくおか、ファンドレイジング	2
京都市社会福祉協議会 (京都市長寿すこやかセンター)	住まいサポートふくおか、ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業	2
仙台市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業、 住まいサポートふくおかの取組み	2
NPO 法人 CoCoT	住まいサポートふくおか、高齢者の孤立化と孤独死に関わる現状	1
春日市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業	4
新潟市社会福祉協議会	やすらかパック事業	3
山鹿市社会福祉協議会	成年後見事業、ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業	3
高松市社会福祉協議会、香川県社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業	2
別府市社会福祉協議会	住まいサポートふくおか、ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業	1
名古屋市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業、社会貢献型空き家バンク、住まいサポートふくおか、日常生活自立支援事業や成年後見の連携、遺贈などの寄付金の募集・運用の仕方	2
鹿屋市社会福祉協議会	終活相談	2
美作市社会福祉協議会	社協が受ける遺贈	2
伊賀市社会福祉協議会	ファンドレイジングの取組み	1
熊本市社会福祉協議会	ファンドレイジングの取組み	2
佐賀市金立校区社会福祉協議会【※飯原校区】	ふれあいカフェの取組み	28
大和町ボランティア推進協議会 【※小田部校区】	カフェ設立までの流れ、実施後の課題	18
筑紫野市民生委員児童委員連合会地域福祉部会 (筑紫野市社会福祉協議会)【※東若久校区】	ふれあいネットワークの取組み	29
行橋市社会福祉協議会(仲津校区高齢者見守りネットワーク 協議会) 【※東若久校区】	ふれあいネットワーク活動運営協議会の活動	20
ソウル市老人総合福祉館協会	ふれあい事業	36
藤枝市西益津地区社会福祉協議会【※早良校区】	ふれあいサロン活動、ふれあいネットワーク活動、生活支援ボランティアグループによる活動 他	25
基山町社会福祉協議会	移動支援モデル事業	2
門司区社会福祉協議会	福岡市内の地域福祉活動及び生活支援活動	43
聖隷クリストファー大学	子どもと家庭への地域包括的ケアのあり方～地域での支援ネットワークづくりの取組みと課題	2

団体名	視察内容	人数
福岡県立大学	社会福祉協議会における地域アセスメントの記録	1
福岡大学	高齢者や障がい者に対する地域における取組み	2
大宮地域まちづくり推進委員会	生活支援ボランティア活動	17
佐世保市南地区自治協議会	生活支援ボランティア活動	30
飯塚市菰田地区地域福祉ネットワーク委員会	生活支援ボランティア活動	35
久留米市善導寺校区社会福祉協議会 【※美和台校区】	生活支援ボランティアグループの活動内容等	25
みやき町社会福祉協議会 【※傾聴ボランティア笑みの会】	傾聴ボランティア活動の知識、技術の向上	20
神戸市居住支援協議会	住宅確保要配慮者への居住支援策	3
糸島市可也校区社会福祉協議会 【※田隈校区】	災害時要援護者支援台帳の活用	30
福岡・大連未来委員会	ボランティアセンターの「災害時の役割」	7
城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛 【※美和台校区】	2丁目ボランティアの会ブルーネットの活動	25
熊本県社会福祉協議会	人事評価制度の取組み	2
豊島区社会福祉協議会	プラザ見学、社協職員の人材育成、やすらかパック、ずーっとあんしん安らか事業、すまいサポートふくおか等	6
飯塚市穎田地区民生委員児童委員協議会	高齢者・障がい者・児童等の支援	22
韓国老人福祉長期療養機関協会京畿南部支部	老人ケアの支援や取組み	38
八幡東区民生委員児童委員協議会 【※周船寺校区】	西区周船寺校区社協の取組み	16
熊本コスモス園	社会福祉法人によるシェアハウスの運営	4
合 計	44 団体	527

【※】は受入校区

【別表 4】

講演等の依頼

(人)

依頼団体・講座名等	講演内容等	人数
西区民生委員児童委員協議会自立支援部会	講義「生活福祉資金について」	50
西サポネット実行委員会	日常生活自立支援事業・成年後見制度	15
西サポネット研修会	日常生活自立支援事業・成年後見制度	75
西区第1民生委員児童委員協議会研修	日常生活自立支援事業・成年後見制度	30
西区精神保健家族講座	日常生活自立支援事業・成年後見制度	5
福岡市中央区ケアマネ会研修会	日常生活自立支援事業・社協事業	45
ふれあい会職員研修	成年後見制度	11
福岡市介護実習普及センター	介護講座「認知症の方の生活を助ける」日常生活自立支援事業・成年後見制度	75
要援護高齢者等居住支援・生活支援普及啓発等事業	住まいサポートふくおか	50
第10回生活保護問題議員研修会	住まいサポートふくおか	55
名古屋市居住支援協議会	住まいサポートふくおか	47
鳥取県居住支援協議会	住まいサポートふくおか	70
宮城県居住支援協議会	住まいサポートふくおか	60
九プロ地域福祉研究会議	ファンドレイジング	32
遺贈寄付担当者養成セミナー	ファンドレイジング	55
ソーシャルイノベーション研究会	社会貢献型空家バンク	30
東花畑校区フォーラム	移動支援	40
大牟田市社会福祉協議会	ずーっとあんしんやすらか事業、やすらかパック	15
日本地域福祉研究所公開セミナー	ずーっとあんしんやすらか事業、やすらかパック、住まいサポートふくおか、ファンドレイジング	105
地域福祉とファンドレイジングフォーラム	ずーっとあんしんやすらか事業、やすらかパック、ファンドレイジング	120
岐阜県大垣市職員研修	ずーっとあんしんやすらか事業、やすらかパック、住まいサポートふくおか、ファンドレイジング	85
山形県済生会生活困窮者身元保証研修会	ずーっとあんしんやすらか事業、やすらかパック、住まいサポートふくおか、ファンドレイジング	40
社会福祉法人今山会	地域公開講座「地域づくりについて」	40
芦屋町社会福祉協議会	講演会「みんなでつくろう住みやすい町」	50
福岡大学医学部看護学科	ヘルスプロモーション実習「地域福祉活動の理念と実際」	102
福岡玄海ライオンズクラブ	卓話「地域共生社会の実現を目指して」	49
AABC・笹川平和財団	国際会議「アジアインパクト対話シンポジウム」(パネラー)	100
笹川記念保健協力財団	2018年度日本財団在宅看護センター起業家育成事業	15
糸島市ファミリーサポートセンター	会員交流会「福岡ファミリー・サポート・センターの取り組み」	20
福岡市介護保険事業者研修	地域福祉活動および地域と事業所の連携	51
福岡市認知症ライフサポートワーカー養成研修	認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくり	18
合計	31 団体	1,555

事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
会長 谷川 浩道